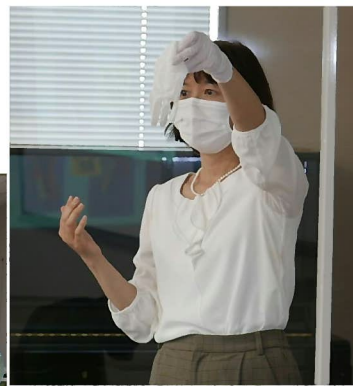


感想文 - 医療安全管理対策研修会 -

コロナ感染対策を学ぶ

尼崎支部は10月30日、尼崎商工会議所にて、済生会兵庫県病院・感染管理認定看護師の小川麻由美氏を招いて医療安全管理対策研修会「新型コロナウイルス感染症を含めたこれからの外来感染予防～ワクチン接種を済ませても安心できない理由とは?～」を開催し、15人が参加した(前号既報)。松浦浩太郎先生の感想を紹介する。

手袋の着脱法の基本と注意点を丁寧に解説する小川氏(写真右)
防護具着脱を何度も繰り返して実技研修を行う参加者(写真下)



COVID-19感染者は減少傾向にあるが兵庫県では下げ止まりの感があり、今後も感染予防対策が必要であると考え、研究会に参加した。

講師は感染管理認定看護師として日々病院でCOVID-19に対応されており、実際に経験された数多くのエピソードは、これから自院での対策に活かせる具体的な情報として知ることができた。

講演では、「手指衛生(手洗いと手指消毒)」の方法を動画・テキストと擦式アルコールを用いた実演によって紹介された。続いて防護具の着脱の注意点を、参加者各自に実物をあてがい、実際に着脱しながら説明された。現場ならではの色々な工夫や反省点も紹介された。その他の院内感染対策も説明して下さった。

自らの病院内でもCOVID-19罹患者および濃厚接触者の発生があり、その対応に苦労する中、「誰がなってもおかしくないものだから」と、思いやりの心を忘れなかったことは、看護師らしいエピソードだと感じた。

これからの感染予防の注意点と共に、普段から免疫を高める生活のアドバイスもあった。配布されたテキストは、カラーイラストや写真が多く使われており非常に分かりやすく、自院でもすぐに活用できそうなものだった。ここにも心遣いが感じられた。

【戸ノ内共立診療所 松浦浩太郎】

兵庫県保険医協会 尼崎支部ニュース

421号

2022年1月25日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階 兵庫県保険医協会 尼崎支部
TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

新年にあたって



兵庫県保険医協会尼崎支部長
綿谷 茂樹

新年明けましておめでとうございます。

日々地域医療に尽力されている先生方に心より敬意を表します。

旧年中は弊会の諸事業にご理解とご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。本年も変わらぬご支援を賜りますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。

まずはじめに、尼崎支部で昨年秋から取り組んでおります「中学卒業まで医療費無料化を求める署名」につきましては、多くの先生方にご協力をいただき誠にありがとうございます。12月に尼崎市議会へ署名を提出し、健康福祉委員会で審議されましたが、結果は「継続審議」となりました。委員会審議では、すべての会派が制度の必要性を認めましたが、予算措置の裏付けについて一致がされませんでした。

市民の強い願いがあり、その上、議会内でも中学卒業まで医療費無料化実現の合意があるのであれば、予算の使い道についての政策判断次第で実現が可能です。今後は2月市議会でも再審議される見込みですが、署名をさらに積み上げて市民の切実な声を届けていきたいと考えておりますので、引き続き署名運動にご協力いただきたく心よりお願い申し上げます。

コロナ禍により昨年も引き続き支部企画の開催が少なくなりましたが、医療従事者のワクチン接種が進む中、少しずつ企画を再開して参りました。まだまだ収束の見通しを立てることが難しい状況ですが、今後も日常診療に取り組む支部会員の声を集めて、必要な情報を発信しながら、今年も支部活動の課題に取り組むべく幹事の先生方とも尽力して参ります。

尼崎支部では3月末に診療報酬改定研究会の開催を予定しております。不合理制度の是正のためにも、多数のご参加とご意見をお寄せいただくようお願いいたします。

2022年はコロナ禍からの生活再建、医療再建を展望すると共に、諸先生方のご健康とご多幸をお祈り申し上げて新年のご挨拶とさせていただきます。

今年もよろしくお願ひ致します 支部役員一同



中学卒業まで医療費無料化を 求める署名にご協力ください

尼崎は物価も安いし、福祉も充実した住みやすい街というイメージがありますが、小学生や中学生の子育て中の世帯にとっては、阪神間で一番住みにくい町になってしまいました。

小学生は一般的に幼稚園や保育園の時ほど病気をしません。幼児期に通りの感染症はかかっていてすでに免疫を持っていることが多いからです。でも大きくなってからかかると重症化することも多く、負担も大変です。また、けがやスポーツ障害で外科や整形外科にかかることも多いです。

私は小児科医ですが、小学校高学年以上で定期的に通ってくる患者さんは、喘息やアトピー性皮膚炎のようなアレルギー疾患や、その他の慢性疾患や長期的に薬を飲む必要がある発達障害や神経疾患の子供が多いです。今、診察料は検査をしなければそれほど高くないのですが、薬代は高いです。新しい薬ほど高いです。薬代が高いため必要と思っても出せないケースも多いです。

現在のコロナ感染拡大の長期化による、雇用や経営の悪化はもろに家計を直撃していると思います。その影響は低所得者ほど大きく、貧困・格差の拡大が進んでいます。生活が困窮する世帯が増加する中で、すべての子供たちが必要な医療を受けられるために、コロナ感染拡大の今こそ医療費助成の拡大が必要だと切実に思います。

2月市議会では、ぜひ採択していただけるように私も署名活動を頑張っています。

ご協力を広く訴えます。よろしくお願いいたします。

【ラジオ関西出演番組より一部抜粋 / 高原周治・高原クリニック】

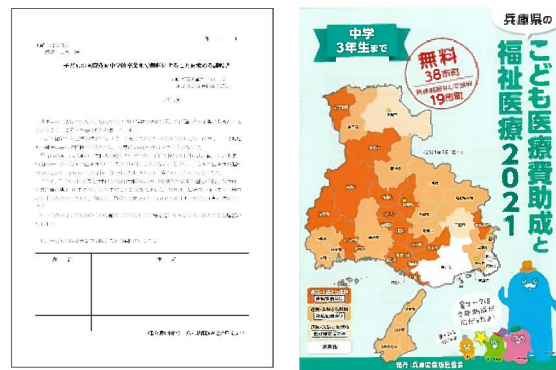
尼崎社会保障推進協議会 街頭宣伝

尼崎市内の各所で訴え

協会が加盟する尼崎社会保障推進協議会(会長・綿谷茂樹先生)は、11月26日に阪神尼崎駅南側、12月11日に阪急園田駅北側、1月12日にJR尼崎駅北側



署名を訴える綿谷茂樹支部長(左)と高原周治先生(右)



署名用紙(左)、「兵庫県の子ども医療費助成と福祉医療2021」パンフレット(A6版)(右)のご注文は担当事務局(Tel 078-393-1809)まで



子育て世代の声を聞き署名を訴える社協メンバー(3面につづく)

(2面のつづき)

で「子どもの医療費を中学卒業まで無料にすることを求める請願」署名行動を行った。

1月14日までに合計6,631筆を市議会へ提出している。1月14日の市議会の健康福祉委員会には、社協構成団体から8名が傍聴に参加した。2月も引き続き街頭宣伝を行う予定。

ラジオ関西「医療知ろう！」に出演

金子明弘先生と高原周治先生がラジオ関西番組で語る

ラジオ関西番組「寺谷一紀と!い・しょく・じゅう!」内の協会提供コーナー「医療知ろう!」に、12月23日に金子明弘先生(かねこ内科循環器科クリニック)が「心臓リハビリテーションについて」、1月20日に高原周治先生(高原クリニック)が「尼崎市で中学卒業まで医療費無料化を!」のテーマで出演。

当日の様子は、放送後でも番組ブログや協会ホームページ(<http://www.hhk.jp/topics/2021/1007-090000.php>)からもご覧いただけます。



パーソナリティの寺谷一紀さん(左)と金子明弘先生(右)

兵庫県保険医協会の医師・歯科医師が、ラジオ番組「寺谷一紀と!い・しょく・じゅう!」「医療知ろう!」コーナーで「コロナワクチンはどうなるの?」「歯と全身の健康との関係は?」など身近な医療に関する疑問にお答えします。毎週木曜日夜7時25分ごろからは、ラジオ関西(AM558KHz)をぜひお聞きください。

寺谷一紀と!い・しょく・じゅう! 医療知ろう!

毎週木曜日 / PM6:00~8:00
 コーナー / PM7:25~7:35頃
 放送期間 / 2021年10月~2022年3月

ラジオ関西 AM558 FM91.1 AM 558KHz. / 1395KHz. (東北部) / FM91.1MHz.